

# 床上手の高木(旧姓)さん

## 人妻とのガちんこ妊娠勝負!

一児の母には  
見えない微乳  
スレンダー人妻に  
完全中出し

# NTR AV Debut!!

**GS**  
glam sight



**本中**

床上手の高木(旧姓)さん  
人妻とのガちんこ妊娠勝負!

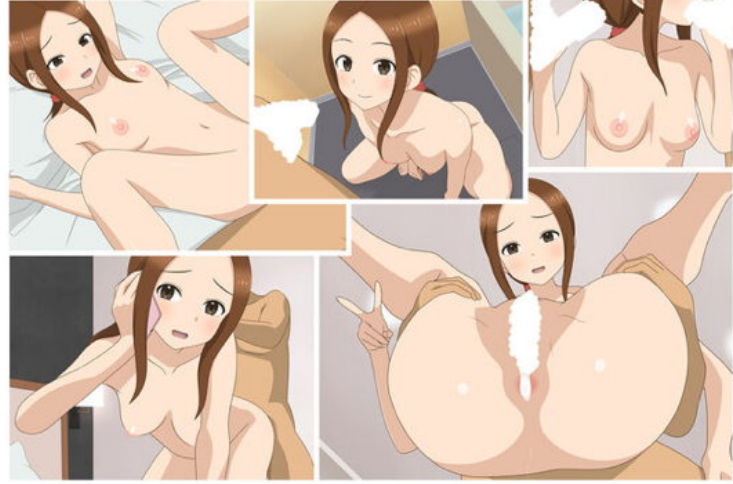
**AV**  
Debut!

**108**  
minutes  
税込価格  
¥800  
TAKA-01

スレンダーな人妻・高木(旧姓)さんが♡に初出演。小ざかったひとり娘も手がからなくなり、そろそろ二人目を夢んでいたのですが、肝心の旦那さんは体育教師の仕事が忙しい上、仕事に没頭して草食系で夜の営みがほとんどなく、肉体的にも欲求不満なんだとか。そこで、初めての浮気を遠慮し自ら応募。産まれてくる子は、はたして旦那の子かそれとも……危険日発勝負! 濃厚ザーメンで着床を狙います。



男を弄ぶからかい上手な  
人妻とのイチャラブ生本番!!



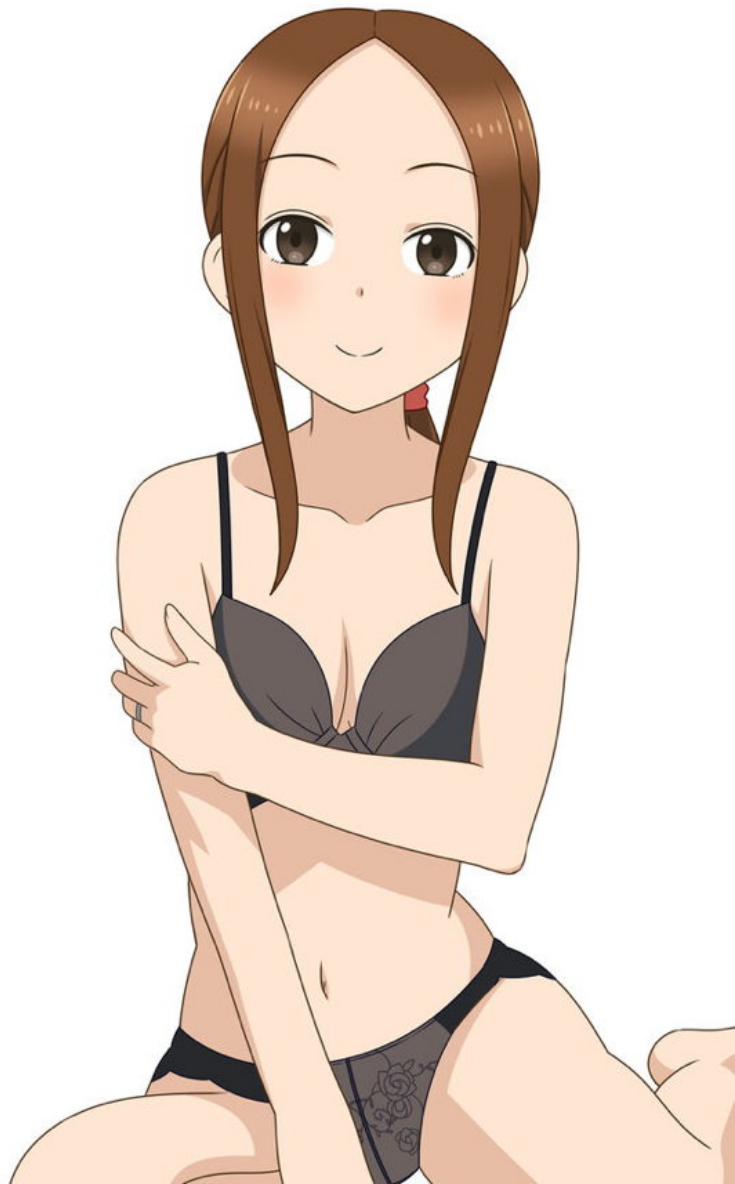
誰の赤ちゃんだらうねー。勝負……する?

**GS** 企画制作 グラムサイト  
glam sight  
<https://www.glamsight.jp/>  
JPEG/PDF [COLOR] 2400x1800px  
KT-001 108min 800YEN



●このCG集は18歳未満への販売・貸し出しを禁じます。  
●このCG集の無断複製、及びネット上へのUPは禁止します。  
●この作品には18歳未満の人物は出演していません。

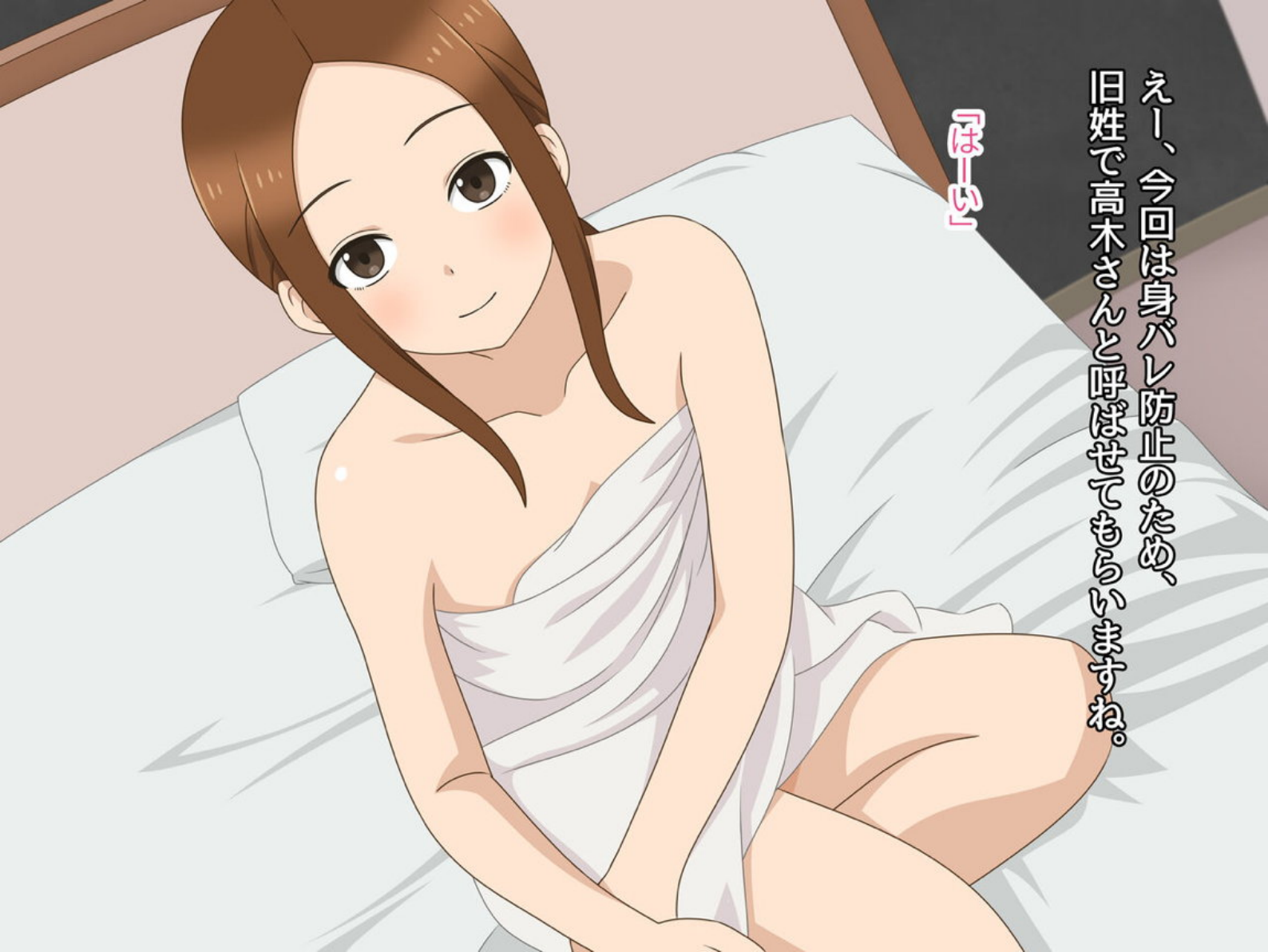
**DOJIN**  
**R18**  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



床上手の高木(旧姓)さん  
人妻とのガちんこ妊娠勝負！

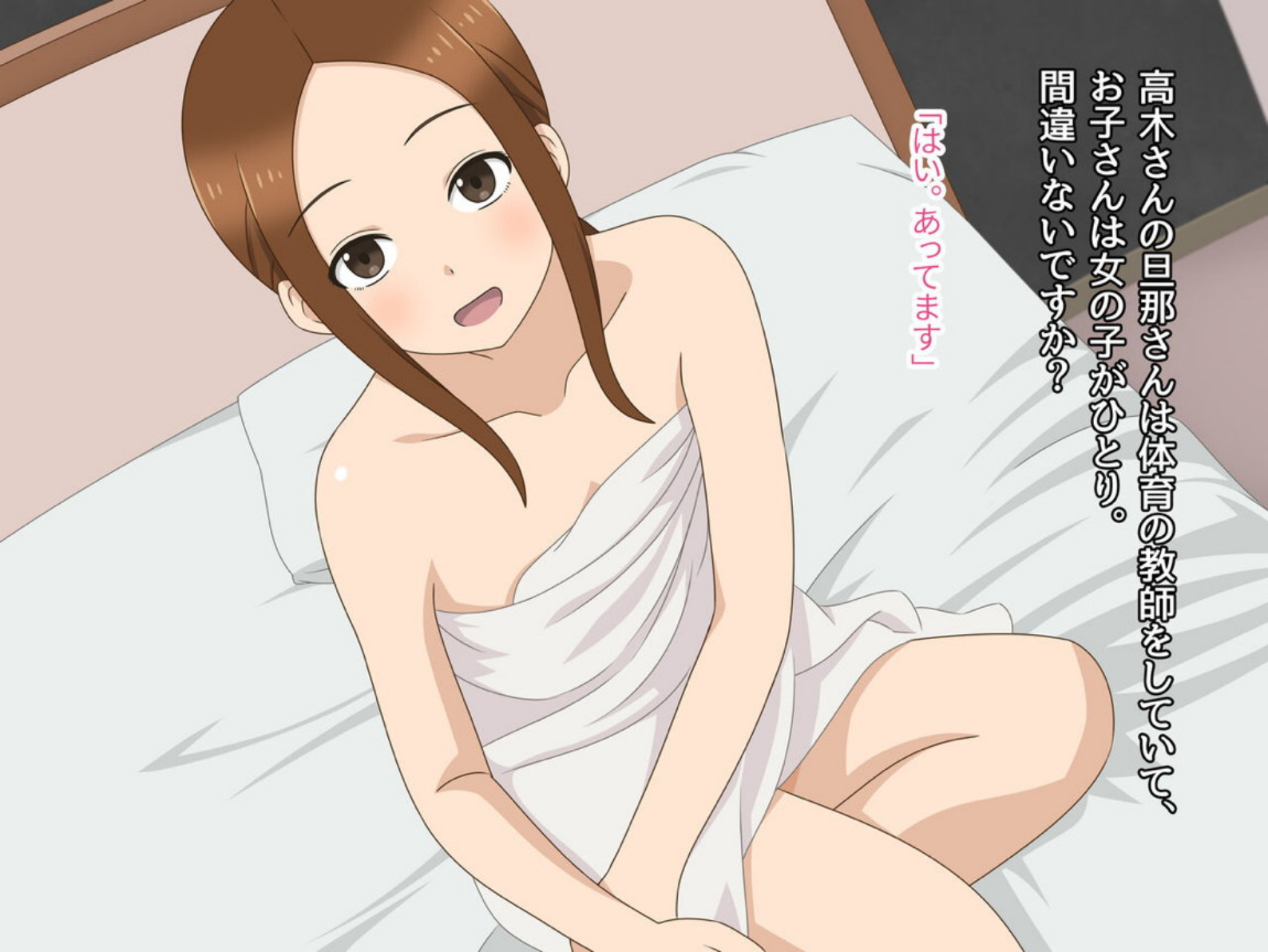
えー、今回は身バレ防止のため、  
旧姓で高木さんと呼ばせてもらいますね。

「はーい」



高木さんの旦那さんは体育の教師をしてらして、  
お子さんは女の子がひとり。  
間違いないですか？

「はい。あっています」



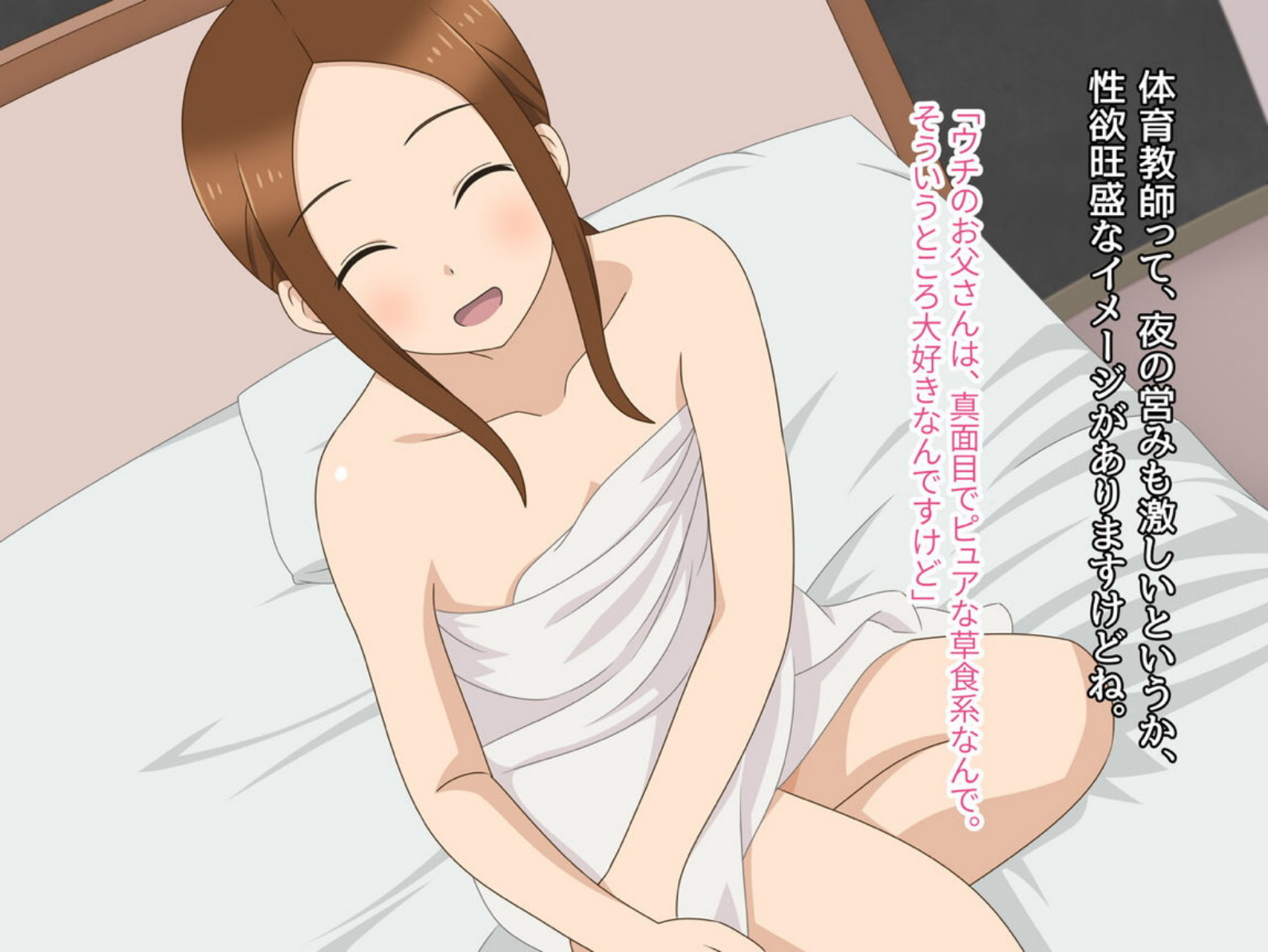


それでは、今回出演していただいた動機を  
教えてもらっても？

「そうですね……欲求不満、だからかな？」

体育教師って、夜の営みも激し〜と〜うが、  
性欲旺盛なイメージがありますすげ〜ね。

「ウチのお父さんは、真面目でピュアな草食系なんで。  
そ〜うい〜うと〜ころ大好きなんですけど」





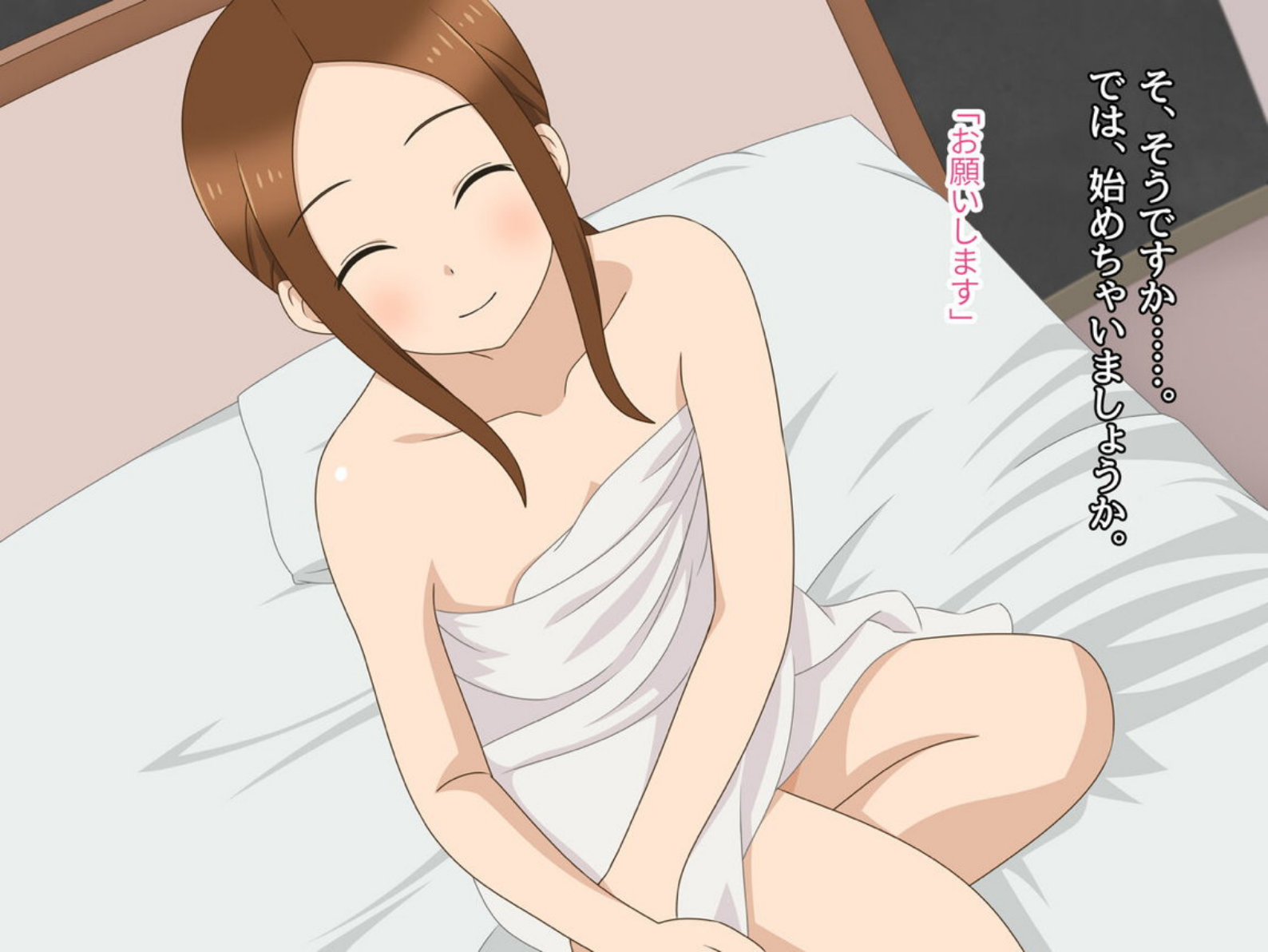
惚気られてしまいましたね。

今回はそんな旦那さんに内緒で第二子を  
仕込んでおうって企画なんですけど……。

「娘も兄弟が欲しいって言ってたんで、  
ちよーどよかったです」

そ、そうですか……。  
では、始めちゃいましてよろうか。

「お願いします」







ほむっ

「ほーい……ほむ」

「それじゃあ、まずはフェラから」



甘  
っ  
ぽ

「う、上手いですね。  
旦那さんに仕込まれたんですか？」

「んちゅ、ちゅぶ、ずちゅっ」



「んー、独学？  
んちゅ、ちゅぶぶぶ、ちゅぶぶ」

「独学でこんな男のツボを……うつつっ！」



「んん！」

「あつ、あつ、ダメだ……イク！」

「んっ、んふう……！」ぐん

「はあ、はあ……」

「飲んでくれたんですか？」

「んんん」

んんん

ゴクン

「いやー、何というか、男心を  
わかってますね」

オシッコ

「というわけで、続けて挿入といきますか」

「あつ、今出したばかりなのに、  
もういけるんだ？」

「そりゃあ、奥さんみたいな美人相手にすれば、  
何回戦でもいけますよ」

「嬉しいかも」



「旦那さんは違うんですか？」

「んん……、大体一回出すと終わり、かな？」

「もったいない。」

「こんな具合の良いオマン」  
「してるのに」





「んっ……あつ、ダメ。気持ちいい」

「どこに何が入って気持ちいいんです？」

「んっ……オマンコに、オチンチンが入って気持ちいい♡」







「はあ、はあ、はあ……………」

「…………ドクドクツて精子が出る。  
本当に赤ちゃんデキちゃうかも♡」

「えーっと、本当にいいんですか？」

「どっぴやー」

「やぐ、興奮して半勃ちになっちゃうわ」

キム





「んん」

「あーん」

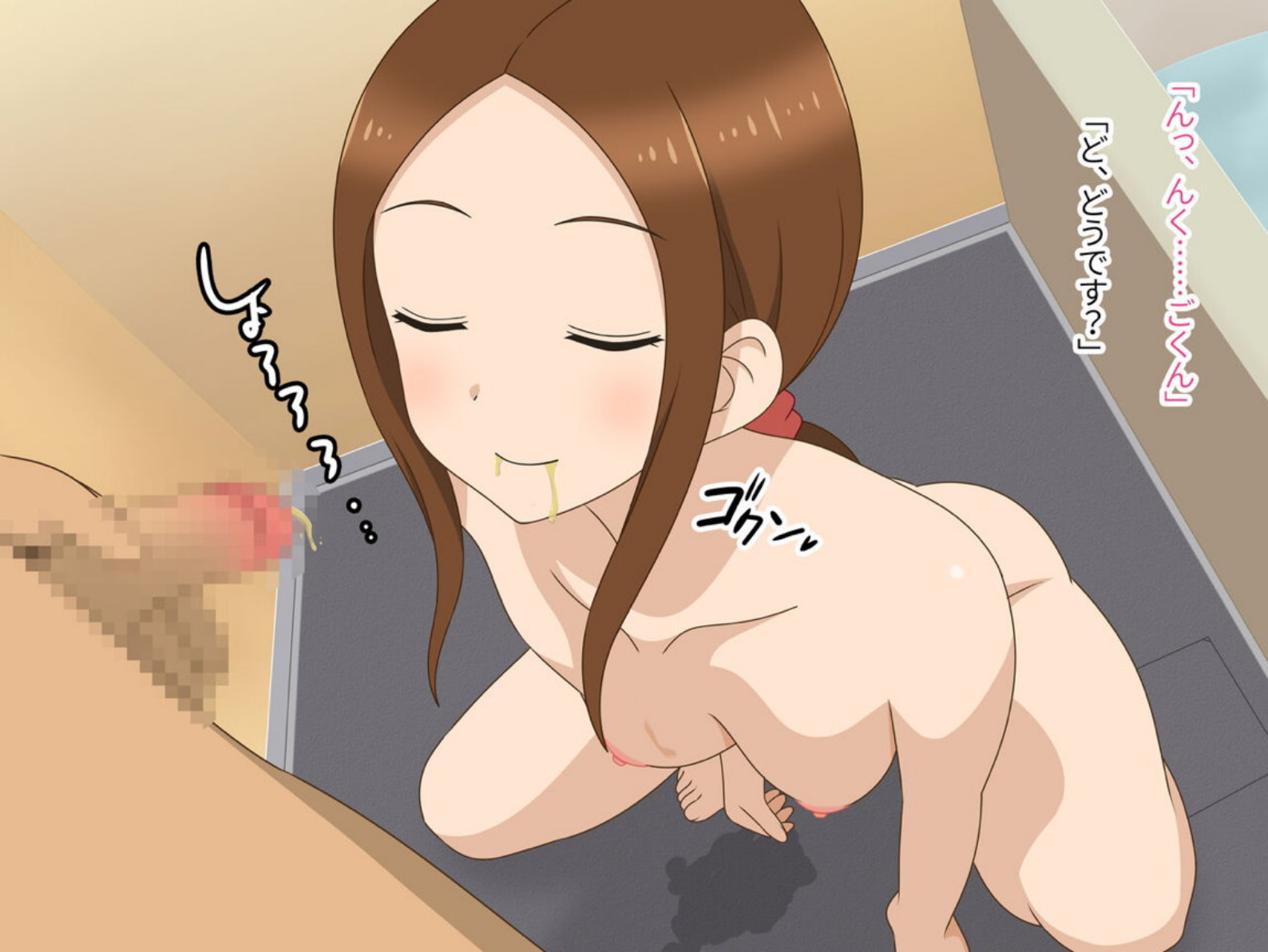


「20...27...11...2」

「アノキキホ...」

ゴキウ

~~~~~  
...



「うん、しょっぱくておいしくはないね」

「そりまあ、そうでしょ。

よく飲尿OKしましたね」

「まあ、フェラするとおしっこ  
舐めちゃうこともあるし。  
別に同じかなって」

あはっ



「足」キとか旦那さんにしたことはあるんですか？」

「何度か勝負するときにしたかなー？」

グニョッ

グニョッ





「勝負？」

「ふふ。嫌じゃないと思うんだけど、  
プライドの問題であんまり好きじゃない  
みたいけどね」

グニッ

グニッ



「まあ、ちょっとわかりますね。  
弄られてる感じがすると言っか」

「別の意味でイジってるけどね」

グニョッ

グニョッ



「うっ、イク！」

「あはは、いっぱい出たね♡」

ぱんぱんぱん



「……もしもし、お父さん？  
お仕事忙しいところ、ごめんね。  
そう？  
大丈夫だった？」



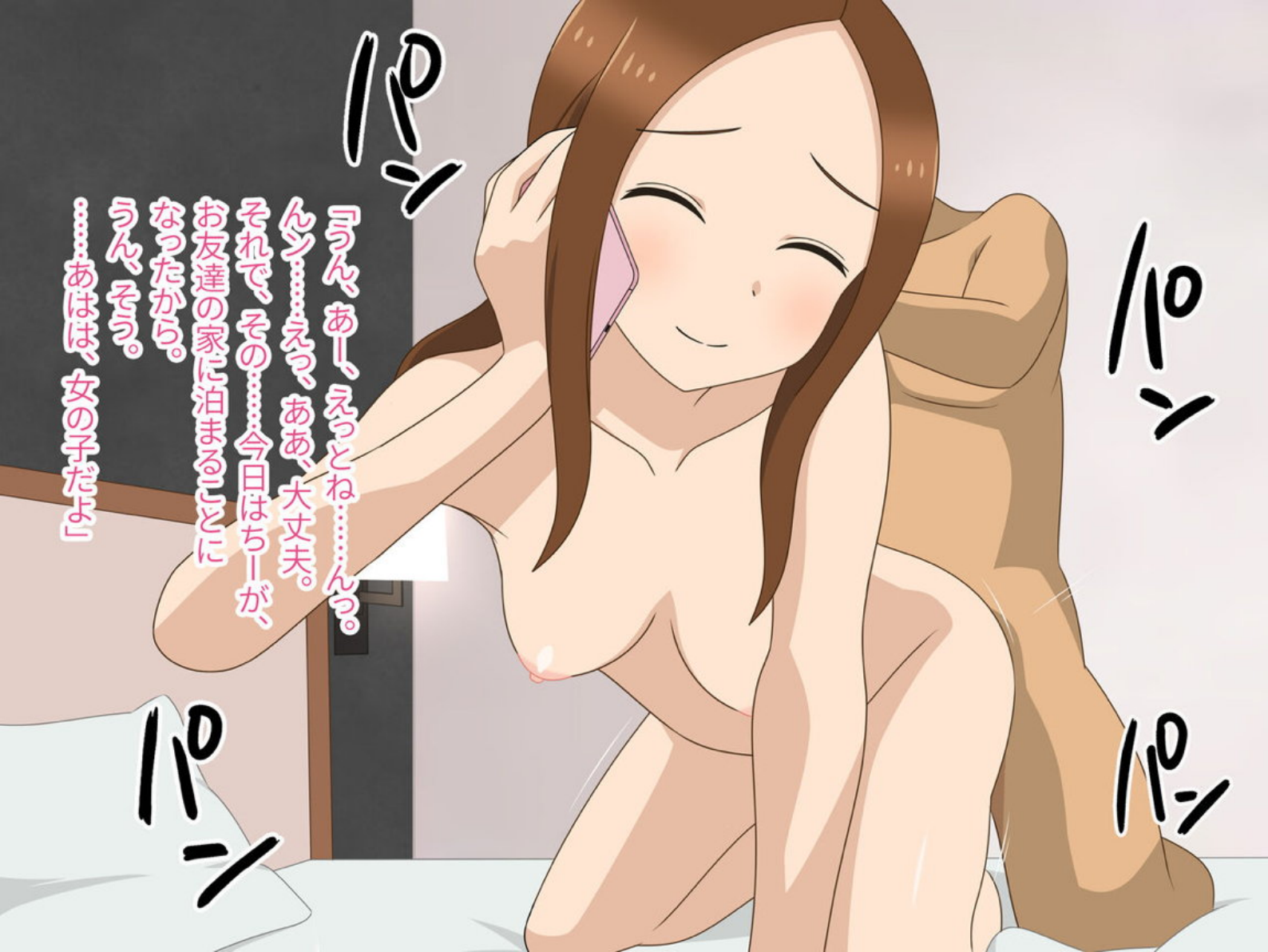
「うん、あー、えっとね……んっ。  
んん……えっ、ああ、大丈夫。  
それで、その……今日はちーが、  
お友達の家泊まることにな  
ったから。  
うん、そう。  
……あはは、女の子だよ」

んん

んん

んん

んん



パン

パン

パン

「心配性、だね。  
だから今日は二人っきりだよ。  
……うん、それもいいね。  
あつ、これは全然関係ないんだけど、  
そろそろちーが弟か妹が欲しいって  
言ってたよ。」

あははっ……んん

パン



「……えっ？  
ううん。本当に大丈夫だよ。  
……ありがとう。  
映画もだけど、夜の勝負も楽しみに  
してるね♡  
それじゃあ、お仕事頑張って  
……んはあ！」

パン

パン

パン

パン

きゅん



「あはは、聞こえちゃったかな？  
お父さん、鈍いから大丈夫だと  
思うけど」

ド  
ド  
ド  
ド  
ド





アリン

「いやあ、悪い奥さんですね」

「そうかな？」

「……そうかも」



「旦那さんには悪いけど、  
俺の精子で受精しちゃったかも。  
めっちゃ興奮して濃厚なの出しちゃったんで」

「あはは」

「それじゃあ、最後はもうひとり  
男優呼びますんで」

「おー」

ボタ



「はむ、んぶう、ぢゅぼ、んぢゅ」

「あー、やべ。気持ちいいす」

んぢゅ



「んちゅ、んぶらう……んん」

「足もそつだけど、手「キも上手すぎ  
ですよ奥ちゃん」

んちゅ  
んぶらう

んちゅ  
んぶらう





「あー、やべーっす。イキそうっ！」

「俺も……うっっ！」

「んぶ、んんー！」

んんん

んんん



「んぶう、んん……ゴクン」

「あー、すごかった。マジで最高ですよ奥さん」

「あつ、今度は俺挿れていいっすよね！」

ズ  
ン  
ン  
ン

ゼ  
ク  
ン





「うーわ、なんすかコレ。」

子供いるとは思えないほどキツキツなんすけど」

「めっちゃ名器だよな。本当、こんな奥さんいたら  
毎日猿みたいに犯りまくるレベル」

「あはは」

「っ  
っ」

うわ

うわ



「あー、気持ちいい。奥さんはどうですか？」

「うん、奥に当たって気持ちいい♡  
お父さんのよりおっきくて硬いのが  
子宮まで届いてる♡」

10分

10分

10分

クマ

クマ

「腰止まんねー。絶対孕ませてやるからな！」

「んっ、はあ……んん、すっごい、  
ダメ……イク、イッちゃう」

「っっっっっっ。イッちゃえイッちゃえ」

10  
14  
11

10  
14  
11

10  
14  
11

10  
14  
11

10  
14  
11



ジュルル

「俺もイク、うう……孕め!」

「んはあ、オマンコイク!  
イッチャううう……♡」

イク

イク

「はあ、はあ、はあ……。  
すげー出たっす。気持ちよかったー」

「ふふ……凄かった。  
私も気持ちよかったよ♡」

ドク  
ドク





「はい、それじゃあカメラに向かって  
ピースしてもらえますか？」

「あ……………えっと、ごうかな？」

ア  
ン

「いいねいいね。」

それじゃあ、旦那さんに向かって何かひと言

「えーと……」

うん  
うん……



「お父さん、ごめんね。お父さんの見てないところで  
いっぱい中に出されちゃった。  
お父さんのチンポより大きくて気持ちよかったよ。  
お父さんもこれ見ていっぱいシコシコ気持ちよ  
くなってね♡」

アハハ





「う……うん」

あー



「だって、だって……！」

「またあのAV見て泣いてたの？」

あはっ

んん  
んん



「お父さんがネトラレもの好きだって  
いうから出演したのに」

「そうだけど。そうなんだけど!」

「泣きながら勃ってるし」



「そんなに私が他の男の人に  
オチンチン入れられるの見て興奮した？」

「……した。めちゃくちゃ悲しいのに、  
無茶苦茶興奮した」

「も、本当に変態だね。  
お父さん以外の人の赤ちゃん、  
妊娠しちゃったかもしれないのになあ」

♡♡

フツフツ

「お腹の子は誰の子でも大切に育てるから！」

「そっ？」

まあ、撮影のあとお父さんともしたし、  
私はお父さんの赤ちゃんだと思っけどね！」

「そ、そうなの？」

「どうかなー。勝負、する？」



